

ある日の育児日記から*

佐藤 和代 *

一人目の子は、無事生まれました。三五五〇g のちょっと大きめの男の子です。



（これはさすがに看護婦さんにみつかると「落とさないでね」と不安がられました）イナイイナイバアしたりとあきない圭でした。
あー、個室でよかったです。

***** (18)

今回の出産で一番悩んだのが、私の入院中、圭をどうするかでした。敬（父親）が一週間も仕事を休むのは無理。実家は忙しい商店で、一日中世話を休まないことにしました。敬が遅刻と早退を園を休まないことにしました。

話するのは大変。というわけで、できるだけ保育園へやつてきて、私が赤ん坊と遊びます。昼食はして送り迎えし、それが無理な日は、実家から一時間かけて、電車で通園——これでいこう。

実家で食べ、午後またやつてきて、私のベッドで寝。そのまま夕方までいるのです。

はじめ、ベッドに親子で寝ているのを見てあせった看護婦さんたちも、しまいには慣れてしまい圭と遊んでくれました。何もない病室ですが、赤ん坊がいいオモチャ。抱いたり添い寝したりはじめまして有(ゆう)です。圭と有…くとU。安易な命名だな。

